

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年 5月 1日				
児童発達支援事業所 れみそらし						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	3	保育園の保育活動の中で支援しているので保育室を使用しています。	個別での領域の場合は、現状の支援室だけでは狭く、音などが遮られる部屋があればいい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	年齢にもよるが利用者3～5名を配置しています。	人数としては適切だと思うが、急な休みなどでその職員の補充はなく、残った職員で負担しなければならない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	4	生活空間は、事業所としての設備ではなく、園の設備と一緒に利用しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	園での生活のなるので、集団の中で子どもたちの活動に合わせた空間となっている。	個別療育の時は、部屋の広さを考え活動も変えていく必要がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	事業所の事務室は、子どもが気持ちを落ち着かせる時に使用している。	スペースが少なく、狭いので痼癪がひどい時などは、他の部屋も考えていく必要がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	業務改善などの意見を職員で出し合えるように、なるべくしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	3		今回が初回となるので、今後把握する機会を全体で把握できるようにしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		引き続き職員の意見を業務改善に繋げていけるように努力していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		外部評価については今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	リタリコなどの、研修動画を見る時間を設けるようにしています。	引き続き、研修なども参加できる機会を作る用努めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	2		ホームページの作成が不十分な部分もあるので、改善をしていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2	2	アセスメントの表を用意しチェックすることを職員間で話し合いをした。	上手く活用しきれない部分があったので、アセスメントの時間をきちんと設け、方法について職員で話し合いを重ねていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	クラス会議や日々の様子を職員同士で話し合い、意見を出し合いながら反映できるようにしています。	引き続き、意見を取り入れながら計画に反映できるよう努めていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	月1回必ず各クラスと会議を行い、支援内容などを共有しています。	引き続き、クラス会議を継続していき、支援の統一などをはかれるように努めていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	3		標準化されたツールはない。 個々のアセスメントを行う際の時間が少ないので、スケジュールを見直していく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	計画書には、5領域のねらいを含んだ本人支援設定しています。支援が必要な部分は、情報を得ながら計画書に反映して作成しています。	引き続き、こどもの支援に必要な項目を取り入れていき、内容設定を確認し作成していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	個別療育については、就学前の療育など職員で話し合いながら、意見を出し合いプログラムに反映できるようにしています。	引き続き、職員で話し合いながら、意見を出し合いプログラムに反映できるようにしていきます。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	保育活動に参加し、個別療育も固定化しないよう内容を考えて支援しています。	引き続き、個別療育も固定化しないよう内容を考えて支援しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	個別活動と集団活動を適宜に組み合わせ計画書を作成しているが、個別活動については時間が少なかった。	行事などの活動が主となるので、個別療育の時間が少ない。こどもの様子を見ながら、回数も検討していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2		各クラスに個々が入る為、チームの連携に至っていない事も多かった。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	話し合いまで行かない時もあるが、その日の出来事について、職員で共有するようにしている。	毎日は難しい現状があるので、時間を作りながら、振り返りをしていけるよう努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	日々の支援に関しては、記録を取り保護者の方にも配信しています。	支援の検証し、改善に繋げられることが増えていくよう、職員での話し合いなどを今後も取り入れていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	保護者の方と落ち着いて話せる環境を設定し、モニタリングをした内容を職員で共有し、個別支援計画を見直ししています。	今後も継続して、モニタリング・個別支援計画の作成をおこなえるよう努めています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	支援センターや小学校などは、少しずつ連携を取り始めています。	今後は施設を訪問するなど、支援の連携を取り、支援体制を整えていけるよう努めています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	保育園については、支援内容等の情報共有など、関係機関連携会議などを通して話し合いをしています。	インクルージョン推進については、今後も話し合い課題を見つけながら、土台作りの必要性を感じています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	3	今年度は支援級に行くお子さんについては、クラスの担任の先生と一緒に、情報共有が出来る機会を設けることができた。	保育園の中に、児童発達支援事業所が出来たことを、学校などにもアピールできる方法を考えていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	3	1	まだ、施設には訪問には行っていないが、今後療育内容を見せていただくなどする予定です。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		他の保育園・幼稚園との交流は今のところありません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	配信や月に一回話す時間を設けることにより、日々の姿をお伝えし共有できるよう心がけています。	引き続き、保護者の共通理解していけるよう、努めています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4	困りごとなどは、事業所で相談できる場を設けています。	情報提供はおこなっていません。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約書にもきちんと記載し、口頭でも保護者の方に説明をしています。	引き続き、きちんと説明をしなくてはいけない部分につきましては、丁寧な説明を心がけて行きます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	相談や申し入れがあった時には、適切に対応できるようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0		ホームページの使用については、課題があるのでその課題を改善していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報については、鍵付きの棚を使用しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		事業所としての行事は現在ありません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	訓練については、保育園と合同で行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	4		保育園内事業所なのでおやつ等の提供はない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	危険な事などは、職員で共有できるようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	身体拘束については委員会を開催。	引き続き、虐待防止などの研修をし、適切な対応をしていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		